

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.2 令和3年5月14日

発行：きこえとことば支援センター
(秋田県立聴覚支援学校内)

特別支援教育アドバイザー 佐藤 淳先生より

昨年度、セミナー等で難聴や言語障害、発達障害の子どもたちの様子を見せていただきました。障害のある子どもたちが現している状態は、もともとの障害によるものと、育ち方・育て方によってあたかも障害のように現れているものが重なっていることが少なくありません。しかしながら、「よくぞここまで育てていただきました」と、先生方や保護者の方々への感謝の気持ちが沸き上がったことがたびたびありました。

県の学校教育の指針においても、「教師との出会いが幼児児童生徒のその後の生き方に大きな影響を与える。」と言っています。深い教育愛と使命感をもって指導に当たられている先生方に負けないよう、私も知っている限りの情報を提供していきたいと思います。本年度もよろしくお願いいたします。



聞こえにくい子どもとのコミュニケーションのコツ

難聴の子どもと初めて接する先生方は、子どもの話していることが分からなかったり、自分が話していることが正しく伝わっているか不安に感じたりしているのではないのでしょうか。大切なのは、じっくりと語り、聞くことです。そして、分かり合える関係を築くことです。

現在は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスク着用や相手と距離をとる新しい生活様式となっているため、「飛沫感染防止」と「確実に伝え合うための工夫」の両立が重要になります。

子どもたちは、聴覚（耳）、視覚（目）の両方を活用するなど、様々な感覚を組み合わせながら話を聞こうとしています。特に表情や口形は、聞こえにくい子どもたちにとって大きな手掛かりとなっています。コロナ禍ではありますが、可能な限り、表情やジェスチャー、文字、イラストなど工夫をしてコミュニケーションの成立と、分かり合える関係作りをしていきたいですね。



本校では透明マスクや透明ボードを活用しています。

難聴児の授業を担当する際の配慮点

～交流学級での英語学習の工夫～

英語は日本語に比べ、母音や無声子音の種類も多く、聞き取りにくい音が多いので、難聴児にとって音声重視の活動では理解が曖昧になりやすく、苦手意識につながる原因にもなります。

そこで、普段の授業の中では、①文字や意味が伝わるような視覚情報を提示する、②話し手の音声がきちんと届くような環境づくり（雑音のないところでのやりとりや話者がロジャー等の補聴援助システムを使用するなど）をしたりして、学習内容が確実に伝わるような配慮をすることが必要になります。また、一斉授業で個別の配慮が難しい場合は、③授業で扱う主要な内容が初見の内容にならないように、事前に内容を知らせ、予習の形でイメージ化を図っておくことによって、難聴児童生徒が学習内容を分かって、安心して授業に参加できるようにすることが有効です。

このように交流学級での工夫として、個に応じた配慮をしていくことが大切になります。



南の交流会

5月27日（木）に予定していた南の交流会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、期日を延期することにいたしました。

参加希望のあった児童の在籍校へは、後日改めて日時等をご連絡いたします。

サテライト教室、定期教育相談

サテライト教室や定期の教育相談も、5月中は中止となりました。関係の在籍校へはFAX等でご連絡いたしております。

電話やメール等での相談は随時お受けしていますので、気になることなどございましたら、きこえとことば支援センターまでご連絡ください。

聴覚障害支援ガイド

令和2年3月に「聴覚障害支援ガイド」を改訂しました。このガイドは、初めて聴覚障害のある子どもたちと接する先生方にとって、必要な内容を分かりやすくまとめたものです。昨年度も職員研修などで、たくさんの先生方にご覧いただきました。

本校ホームページ、美の国あきたネットからダウンロードできますので、どうぞご活用ください。



「子どもの実態に合わせた支援」「自立活動で取り上げた方がよい内容」など、もっと詳しく知りたいこと等がございましたら、いつでもご相談ください。

病弱教育サポートセンターきらり☆

全県の病気の子どものサポートする「病弱教育サポートセンターきらり☆」。入院中や自宅療養中を含む病気の子どもの支えるために、教育委員会や在籍校、病院、病児学習支援ボランティア人材バンクなどの関係機関と連携して、ニーズに応じた支援を検討、提案しています。

また、中通総合病院では、病院内訪問教育として治療をしながら、授業を受けることができます。リモート交流で在籍校とつながりをもつなどして、安心した復学に向けた支援も提供しています。病気の子どものに関する悩みごとや相談がありましたらいつでもご連絡ください。

【病弱教育サポートセンターきらり☆

（秋田県立秋田きらり支援学校内）】

【TEL】018-838-1181（直通）

【メールアドレス】kirari-support@akita-pref.ed.jp

「でんでんくん」への掲載希望

たくさんのご回答をいただきありがとうございました。障害理解、学習支援のポイントやヒント（教材）、自立活動の実践例、学習支援、進路情報（進路先や就労先も含む）についてのご要望が多くありました。

今号では、学習支援につながる、コミュニケーションのコツや授業を担当する際の配慮点について載せています。また、補聴器の仕組みや配慮事項、教室環境などについては、「聴覚障害支援ガイド」にも記述がありますので、どうぞご覧ください。

今後もご要望のあった内容について掲載していきますので、ご意見やご感想をお願いいたします。



きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp